

1 国語を学ぶ意義・目的・・・何のために学ぶのか

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり身につけよう。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切につかうことができるようになる。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を身につける。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を身につける。

2 学習到達目標・・・この1年間を通して、どのような力を身につけていくのか

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようになる。
- (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようになる。
- (3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を身につける。

3 使用教材と持ち物

使用教材	教科書 国語1（光村図書） 中学書写（光村図書） 副教材 よくわかる国語の学習1 漢字マスター1 国語の便覧 すらすら基本文法	持ち物	左記以外に 授業用ノート ファイル
------	--	-----	-------------------------

4 学習の取り組み方

学習の進め方	《学校では》 ・教科書は繰り返し、音読しよう。 ・学習課題を確認し、授業に集中しよう。 ・先生の話や友だちの意見を聞き、自分の考えを持とう。 ・積極的に質問や発表をしよう。 ・わかったことや思ったことを明確にし、振り返りをしよう。 ・次時の予定を確認しよう。 《家庭では》 ・予習・復習をしっかりとる。 ・漢字・語句は、積極的に辞書を引いて調べよう。 ・漢字テストに備え、漢字ノートで練習しよう。 ・新聞や本などを積極的に読もう。 《定期テストについて》 ・範囲はテスト発表時に通知する。 ・授業中に学習したことをノートやワークでしっかり復習しておこう。 ・テストが返却されたら、しっかり見直し、身についたこととそうでないことを整理しよう。また、これまでの学習の進め方について振り返り、より良い学習の進め方について考えよう。
学習上の注意	・チャイムが鳴るまでに着席し、授業の準備をする。 ・忘れ物をしないように気をつける。 ・板書はノートに写し、授業メモをとるように心がける。 ・提出物は期限までに提出する。 ・課題を早く終えても私語をせず、次の課題を見つけ自主的に学習を進める。 ・わからないことをそのままにせず、理解できるまで、また身につくまで粘り強く学習に取り組む。

5 1年間の学習計画

学期	月	単元計画	試験
前期	4	オリエンテーション 野原はうたう (詩) 声を届ける (発表・基本) 書き留める (記録・基本) 言葉を調べる (取材・基本) 本と出会う (図書館・基本)	中間
	5	シンシュン (物語) 情報を的確に聞き取る (聞く) 情報を整理して書こう (書く) 漢字に親しもう 1 (漢字)	
	6	ダイコンは大きな根? (説明) ちょっと立ち止まって (説明) 話の構成を工夫しよう (話す・聞く)	
	7	言葉 1 (語句・語法) 詩の世界 (詩・解説) 比喻で広がる言葉の世界 (説明) 言葉を集めよう (語句・語法)	
	9	西の魔女が死んだ (物語) 文法への扉 1・文法 1 (文法) 大人になれなかった弟たちに (物語)	
		星の花が降るころに (物語)	
			期末
後期	10	「言葉」を持つ鳥、シジュウカラ (記録) 根拠を示して説明しよう (書く・説明) 大阿蘇 (詩) 漢字 2 (漢字の音訓) 言葉 2 (方言と共通語)	中間
	11	いろは歌 (古文・音読) 蓬萊の玉の枝 (古文) 今に生きる言葉 (漢文)	
	12	「不便」の価値を見つめ直す (意見) 助言を自分の文章に生かそう (書く・報告)	
		竹 (詩) 文法への扉 2・文法 2 (文法)	
	1	少年の日の思い出 (小説) 言葉 3 (語句・語法) 漢字 3 (漢字)	
	2	構成や描写を工夫して書こう (随筆)	
	3	文法への扉 3・文法 3 (文法) 一年間の学びを振り返ろう (書く・説明)	
		さくらのはなびら (詩)	
			学年末

6 評価について

評価の観点		評価の方法
主体的に学習に取り組む態度	・国語に関心を持ち、意欲的に取り組もうとする ・課題を見つけ進んで解決しようとする ・振り返りができる ・粘り強く学習に取り組むことができる。 ・自分の学習状況を把握し、学習の進め方について考え、自らの学習を調整することができる。	授業態度・発表意欲 ノート・ワーク・漢字ノート等 振り返りシート など
	〔話すこと・聞くこと〕 ・目的や場面に応じて、自分の考えをまとめ、筋道を立てて話すことができる ・相手の考えを的確に聞き取り、自分の考えを深めようとする 〔書くこと〕 ・題材をもとに、自分の考えをまとめ、わかりやすい文章が書ける ・目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えることができる。 〔読むこと〕 ・文章の内容を的確に読みとることができる ・作品の特色や表現の工夫を通して自分の見方や考え方を広げようとする。	聞く姿勢 発表などの話し方 暗唱テスト 聞き取りテスト 感想文・作文・詩 課題レポート 授業ノート 定期テスト 音読 など
知識・技能	・漢字や文字 (書写) が正しく書ける ・語句の意味や表現技法をとらえ、正しく使うことができる ・基本的な言葉のきまりが理解できる	漢字テスト 文法テスト 定期テスト 書写作品 発表状況 (内容) など

1 国語科を学ぶ意義・目的・・・何のために学ぶのか

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり身につけよう。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切につかうことができるようになる。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を身につける。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を身につける。

2 学習到達目標・・・この1年間を通して、どのような力を身につけていくのか

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようになる。
- (2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を身につける。

3 使用教材と持ち物

使用教材	教科書 国語2 中学書写(光村図書) 副教材 国語便覧 よくわかる国語の学習2 学習漢字ノート2	持ち物	左記以外に 授業用ノート ファイル
------	--	-----	-------------------------

4 学習の取り組み方

学習の進め方	《学校では》 ・教科書を繰り返し音読しよう。 ・学習課題を確認し、授業に集中しよう。 ・先生の話や友だちの意見を聞き、自分の考えを持とう。 ・積極的に質問や発表をしよう。 ・わかったことや思ったことを明確にし、振り返りをしよう。 ・次時の予定を確認しよう。 《家庭では》 ・予習・復習をしっかりとしよう。 ・漢字・語句は、積極的に辞書を引いて調べよう。 ・漢字テストに備え、漢字ノートで練習しよう。 ・新聞や本など積極的に読もう。 《定期テストについて》 ・範囲はテスト発表時に通知する。 ・授業中に学習したことをノートやワークでしっかり復習しておこう。 ・テストが返却されたら、しっかり見直し、身についたこととそうでないことを整理しよう。 また、これまでの学習の進め方について振り返り、より良い学習の進め方について考えよう。
学習上の注意等	・チャイムが鳴るまでに着席し、授業の準備をする。 ・忘れ物をしないように気をつける。 ・板書はノートに写し、授業メモを取るように心がける。 ・提出物は期限までに提出する。 ・課題を早く終えても私語をせず、次の課題を見つけ自主的に学習を進める。 ・わからないことをそのままにせず、理解できるまで、また身につくまで粘り強く学習に取り組む。

5 1年間の学習計画

6 評価について

学期	月	単元計画	試験
前期	4	見えないだけ (詩) アイスプラネット (小説) 問いを立てながら聞く (話す・聞く) 枕草子 (古文) 多様な方法で情報を集めよう (書く)	中間
	5	漢字1 熟語の構成 クマゼミ増加の原因を探る (説明)	
	6	魅力的な提案をしよう (話す・聞く) 「自分で考える時間」を持つ (情報)	
	7	短歌に親しむ (短歌・解説) 短歌を味わう (短歌) 言葉の力 (随筆) 読書案内 言葉1・類義語・対義語・多義語	期末
	9	言葉を比べよう (言葉) 文法1・自立語 盆土産 (小説) 字のない葉書 (随筆) 聞き上手になろう (話す・聞く) 書写 (楷書) 表現を工夫して書こう (書く) 言葉2・敬語	
	10	漢字2・同じ訓・同じ音をもつ漢字 モアイは語る (論説) 根拠の適切さを考えて書こう (書く) 立場を尊重して話し合おう (話す・聞く)	
後期	11	音読を楽しもう・月夜の浜辺 (詩・音読) 音読を楽しもう・平家物語 (古文・音読)	中間
	12	扇の的 (古文) 仁和寺にある法師 (古文) 漢詩の風景 (漢詩・解説) 君は「最後の晩餐」を知っているか (評論) 文法2・用言の活用	
	1	読書案内 走れメロス (小説)	
	2	文法3・付属語 構成や展開を工夫して書こう (書く)	学年末
	3	言葉3・話し言葉と書き言葉 漢字3・送り仮名 書写 木 (詩)	

評価の観点		評価の方法
主体的に学習に取り組む態度	・国語に関心を持ち、意欲的に取り組もうとする ・課題を見つけ進んで解決しようとする ・振り返りができる ・粘り強く学習に取り組むことができる。 ・自分の学習状況を把握し、学習の進め方について考え、自らの学習を調整することができる。	授業態度・発表意欲 ノート・ワーク・漢字ノート等 振り返りシート など
	[話すこと・聞くこと] ・目的や場面に応じて、自分の考えをまとめ、筋道を立てて話すことができる ・相手の考えを的確に聞き取り、自分の考えを深めようとする [書くこと] ・題材をもとに、自分の考えをまとめ、わかりやすい文章が書ける ・目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えることができる。 [読むこと] ・文章の内容を的確に読みとることができる ・作品の特色や表現の工夫を通して自分の見方や考え方を広げようとする。	聞く姿勢 発表などの話し方 暗唱テスト 聞き取りテスト 感想文・作文・詩 課題レポート 授業ノート 定期テスト 音読 など
思考・判断・表現		
知識・技能	・漢字や文字 (書写) が正しく書ける ・語句の意味や表現技法をとらえ、正しく使うことができる ・基本的な言葉のきまりが理解できる	漢字テスト 文法テスト 定期テスト 書写作品 など

1 国語科を学ぶ意義・目的・・・何のために学ぶのか

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり身につけよう。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切につかうことができるようになる。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を身につける。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を身につける。

2 学習到達目標・・・この1年間を通して、どのような力を身につけていくのか

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようになる。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を身につける。

3 使用教材と持ち物

使用教材	教科書 国語（光村図書） 中学書写（光村図書） 副教材 国語の学習3 学習漢字ノート3 あかねこ読解スキル III実践編 国語便覧	持ち物	左記以外に 授業用ノート ファイル
------	--	-----	-------------------------

4 学習の取り組み方

学習の進め方	《学校では》 ・教科書は繰り返し音読しよう。 ・学習課題を確認し、授業に集中しよう。 ・先生の話や友だちの意見を聞き、自分の考えを持とう。 ・積極的に質問や発表をしよう。 ・わかったことや思ったことを明確にし、振り返りをしよう。 ・次時の予定を確認しよう。 《家庭では》 ・予習・復習をしっかりしよう。 ・漢字・語句は、積極的に辞書を引いて調べよう。 ・漢字テストに備え、漢字ノートで練習しよう。 ・新聞や本などを積極的に読もう。 《定期テストについて》 ・範囲はテスト発表時に通知します。 ・授業中に学習したことをノートやワークでしっかり復習しておこう。 ・テストが返却されたら、しっかり見直し、身についたこととそうでないことを整理しよう。また、これまでの学習の進め方について振り返り、より良い学習の進め方について考えよう。
学習上の注意等	・チャイムが鳴るまでに着席し、授業の準備をする。 ・忘れ物をしないように気をつける。 ・板書はノートに写し、授業メモをとるように心がける。 ・提出物は期限までに提出する。 ・課題を早く終えても私語をせず、次の課題を見つけ自主的に学習を進める。 ・わからないことをそのままにせず、理解できるまで、また身につくまで粘り強く学習に取り組む。

5 1年間の学習計画

学期	月	単 元 計 画	課 数
前期	4	オリエンテーション 世界はうつくしいと (詩) 握手 (小説) 季節のしおり 春	中間
	5	学びて時に之を習ふー「論語」 から (漢文・解説) 漢字1 熟語の読み方 漢字に親しもう1 作られた「物語」を超えて (論 説)	
	6	漢字に親しもう2 文法への扉1 すいかは幾つ必 要? 俳句の可能性 (俳句・解説) 俳句を味わう (俳句)	
	7	言葉1 和語・漢語・外来語 読書を楽しむ (読書活動) 季節のしおり 夏	
	9	挨拶ー原爆の写真によせて (詩) 故郷 (小説) 言葉2 慣用句・ことわざ・故 事成語	
			期末
後期	10	漢字2 漢字の造語力 漢字に親しもう3 人工知能との未来 (論説) 人間と人工知能と創造性 (論説)	中間
	11	多角的に分析して書こう (書く) 漢字に親しもう4 初恋 (詩)	
	12	季節のしおり 秋 和歌の世界 (古典・解説) 古今和歌集仮名序 (古文・音読) 君待つと (古文) 夏草 (古文)	
	1	古典名句・名言集 (古文・漢文) 誰かの代わりに (論説) 漢字3 漢字のまとめ 漢字に親しもう5	
	2	文法への扉2 「ない」の違いが わからない? 季節のしおり 冬 温かいスープ (随筆)	学 年 末
	3	わたしを束ねないで (詩) 三年間の歩みを振り返ろう	

6 評価について

評価の観点		評価の方法
主体的 に学 習に 取 り 組 む 態 度	・国語に関心を持ち、意欲的に取り組もうとする。 ・課題を見つけ、進んで解決しようとする。 ・振り返りができる。 ・粘り強く学習に取り組むことができる。 ・自分の学習状況を把握し、学習の進め方について考え、自らの学習を調整することができる。	授業態度・発表意欲 ノート・ワーク・漢字ノート等 振り返りシート 各授業での提出物 など
	[話すこと・聞くこと] ・目的や場面に応じて、自分の考えをまとめ、筋道を立てて話すことができる。 ・相手の考えを的確に聞き取り、自分の考えを深めようとする。	聞く姿勢 発表などの話し方 暗唱テスト 聞き取りテスト
	[書くこと] ・題材をもとに、自分の考えをまとめ、わかりやすい文章が書ける。 ・書く材料を増やし、表現を工夫する。	感想文・作文・詩 課題レポート 授業ノート 定期テスト
思考・ 判 断・ 表 現	[読むこと] ・文章の内容を的確に読みとることができる。 ・作品の特色や表現の工夫を通して自分の見方や考え方を広げようとする。	音読 など
	知識・ 技 能	・漢字や文字 (書写) が正しく書ける。 ・語句の意味や表現技法をとらえ、正しく使うことができる。 ・基本的な言葉のきまりが理解できる。 漢字テスト 文法テスト 定期テスト 書写作品 など